

平成30年度第三回根室市市政モニターハイブリッド会議【記録】

1. 日 時 平成31年2月25日（月）午後6時30分～午後8時00分

2. 場 所 根室市役所 3階 大会議室

3. 出席者 【市政モニター】 9名

【市 側】 4名

介護福祉課長、防災主査、広報広聴主査、広報広聴担当

4. 以下、会議詳細

○広報広聴主査

本日は、提言書の内容を一つずつ確認し、最終的な提言書を完成させたいと考えているので、ご意見をいただきたい。

防災・減災

(提言1) 地域防災力について

◎モニター (G)

「複数の町会」による訓練という記述があるが、複数というよりは「隣接する町会」という意味で申し上げた。有事の際は、隣接した地域による連携が求められる。光洋町と西浜町と一緒に訓練をしてもあまり意味がないと思う。ここは隣接するという文言を加えていただきたい。

○広報広聴主査

了解した。

(提言2) 災害時の情報発信について

◎モニター (J)

ねむろメールの登録促進について記載があるが、ねむろメールが何かがわかっていない人も多い。広報紙に何度も掲載するなどPRに力を入れたほうがよいと思う。

◎モニター (G)

「防災行政無線が聞こえない地域へ情報を伝える手段の構築」という記載があるが、具体的な内容が書かれておらず、市の回答がこちらの考えていたものと違う場合は、堂々巡りになってしまふことが懸念される。もし、来年度の会議では、もう少し具体的な意見としてまとめられるまでいかない意味がないような気がする。

◎モニター (広報広聴主査)

そのとおりだと思う。来年度以降、もっと具体的な意見を提言に盛り込めるよう、

掘り下げた議論ができるよう努めていきたい。

(提言 3) 防災備蓄品について

◎モニター (J)

市の備蓄品は、災害時に十分な量が確保されているのかよくわからない。現在、好調なふるさと納税の寄付金など活用して、できるだけ備蓄の不足を補うべきだと思う。

○防災主査

現在の市の備蓄品については、町会での出前講座などの際に、写真を使って紹介したり、訓練の際に、実際に使ってもらったりすることもある。大事なものから順番に備蓄しているので、トイレットペーパーなどの細かい日用品については、備蓄はあまりない現状だが、災害時は市内の業者と協定して物資の供給を求めたりしている。市の備蓄品を使う以外にも色々な方法があるが、備蓄品についてはさらに整理・見直しをしたいと思っている。

◎モニター (C)

備蓄品の状況について広報紙には掲載していないのか。

○防災主査

広報紙には掲載したことはないと思う。備蓄については、基本として市民それぞれに最低3日分の食料は用意してほしいと考えている。また、町会などでも備蓄をお願いしており、国や市の備蓄品は最後の砦としてとらえていただきたい。

◎モニター (H)

市内の業者との協定という話があったが、先日のブラックアウトの際、市内の店には乾電池を買うのに長蛇の列ができていた。携帯電話の電池が切れたときはどこに行けばいいかといった情報やガソリンなどの緊急対応できる場所などの情報が入手できなかった。こうした市民が必要な情報をしっかりと伝えたい。

○広報広聴主査

ただいまの意見は提言2の「災害時の情報発信」の項目に盛り込みたいと思う。

(提言 4) 総合防災訓練について

◎モニター (H)

総合防災訓練については、自分が仕事をしていたとき参加したことがあるが、関係機関による訓練が中心で一般の人は蚊帳の外だった。一般的な市民も参加できる具体的な訓練はこういうものがあるということを示し、こうした訓練もあるので参加してくださいと呼びかけなければ、一般市民は参加できない。

◎モニター (J)

総合防災訓練は、防災関係機関同士による無線の使い方だとか、連携の確認といっ

たことが主である。自分も一般市民としてこれまで何度も参加しているが、一般市民が参加できるもののがなく、一般の人が入る余地がまったくない。例えば、けが人が出た想定で市民が、応急的な担架をつくる訓練など、一般市民も参加できる訓練を考えるなど、総合防災訓練のやり方自体を見直したほうがよいと思う。

◎モニター（I）

確かに、総合防災訓練に一般の市民が参加しても、各団体の訓練を見ているだけになってしまふので、出来るのであれば、見て触ってもらえるような訓練に参加してもらうのがいいと思う。会場にステージなどを用意して、水のろ過の仕方や担架の作り方など簡単にできるものをやってみたらどうか。

◎モニター（G）

自分は、今やっている総合防災訓練は必要だと思う。関係機関同士の連携は絶対に必要だし、一同に会して災害時の対応を確認することは重要なことだ。それとは別に一般市民向けの防災訓練も必要だと思うので、そうした機会として、自分が意見として出した防災運動会のような場でやればよいのではないか。

◎モニター（J）

本来は町会単位で万が一を想定して訓練をすべきだが、実際には消火器の使った訓練などを行っても、ほとんど役に立たない。より災害時に必要となる実践的な訓練を町会単位で行うことが必要だと思う。

○広報広聴主査

提言1の「地域防災力の強化」ということで、各町会の訓練の支援のような形で提言に組み込みみたいと思う。

(提言5) 避難所・避難場所について

特になし

高齢者福祉

【(提言1) 高齢者を地域で支える体制について】

◎モニター（G）

高齢者が孤立しない情報共有の場を作るのに市は関係しないのか。

◎モニター（H）

誰が指揮を執るのかを明示する必要がある。行政も記載すべきだと思う。

○広報広聴主査

「行政」という文言を追加したい。

【(提言2) 高齢者福祉にかかる人材の確保・育成について】

特になし

【(提言 3) 高齢者福祉サービスについて】

◎モニター (H)

除雪サービスについてだが、市から町会に委託の話があった。有料でやるのか無料でやるのかなど、はっきりしないうちに引き受けて、町会ではトラブルになっている。町会に任せてしまうとトラブルが起きてしまうので、市がしっかりと指揮を執ってほしい。町会加入に対するメリットがなくデメリットばかりだと町会に入る人がいなくなってしまう。

【(提言 4) 施設介護について】

○介護福祉課長

ご意見のあった各施設の入所状況については、情報を出す頻度などもあるが、市内の施設の状況について、明示したほうが分かりやすいと思う。

◎モニター (I)

市営の介護施設はできないものなのか。入所待ちをよく聞くので、市営の施設の建設や民間に対して施設の開設を後押しするようなことが必要になってくるのではないか。

○介護福祉課長

町営の特別養護老人ホームはある。別海町は町営の老人保健施設を持っていて、民間に委託している。以前は自前で特別養護老人ホームなどの施設を持って、職員を雇って市町村がやるというのが多かったが、介護保険による民間参入が進んでいる。根室市でも来年度、グループホームを立ち上げてくれるところを探し、支援していく予定である。

◎モニター (F)

施設があれば勿論いいと思うが、施設ができるても人員が不足しているので、どういった対処をしていくかが難しいという現状もある。

○広報広聴担当

介護施設の充実について、提言に追加したいと思う。

本日いただいた意見を踏まえ、最終的な提言書としたい。文言などについては 事務局に一任いただきたい。次回は、3月11日（月）に市長と関係部長も同席して、提言書の提出及び意見交換を行うので、ぜひ出席願いたい。